2023 年 3 月 22 日

各　　位

会 社 名　株式会社 富士通ゼネラル
代表者名　代表取締役社長　斎藤　悦郎
（コード：6755 東証プライム市場）
問合せ先　経営執行役　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ室長　加納　俊男
TEL（044）861－7627

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023 年 1 月 25 日に公表した 2023 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、当社は通期個別業績予想を開示しておりませんが、前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなったことから、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、2023 年 3 月期における特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2023 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	１株当たり当期純利益（円　銭）
前回発表予想（Ａ）	390,000	18,000	20,000	13,000	124.15
今回修正予想（Ｂ）	370,000	15,000	18,000	9,500	90.73
増減額（Ｂ－Ａ）	△20,000	△3,000	△2,000	△3,500	
増減率（％）	△5.1	△16.7	△10.0	△26.9	
（ご参考）前期実績（２０２２年３月期）	284,128	8,444	11,402	3,722	35.57

２．修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、海外向け空調機において、欧州向けでは販売上積みが期待できるものの、北米、オセアニア、インド向け等では、市況や天候要因により販売の伸びがスローダウンしていることから、売上高は前回予想を下回る見通しです。

損益につきましては、経費削減・費用効率化に努めるものの、売上予想の見直しおよび国内連結子会社に係るのれんの減損損失の計上により、各利益とも前回予想を下回る見通しです。

３．2023 年 3 月期通期個別業績予想数値について
（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

	売　上　高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	当期純利益 （百万円）	１株当たり 当期純利益 （円　銭）
前　期　実　績　（　Ａ　）	206,709	1,845	12,198	11,243	107.42
今　回　発　表　予　想　（　Ｂ　）	270,000	2,000	14,000	10,000	95.50
増　減　額　（　Ｂ　－　Ａ　）	63,291	155	1,802	△1,243	
増　減　率　（　％　）	30.6	8.4	14.8	△11.1	

４．前期実績との差異の理由
主に海外向け空調機の販売拡大により、売上高が前期実績を大きく上回る見通しです。

５．特別損失の計上
紫外線照射装置事業を手がける当社の国内連結子会社において､外部環境の変化等を踏まえ、同社の今後の事業計画を見直した結果、当初想定されていた収益が見込めなくなったため、第４四半期連結会計期間において、同社に係るのれんの減損損失約15億円を特別損失として計上する見込みです。
また、上記に伴い、当社は個別決算において関係会社株式評価損約24億円を特別損失として計上する見込みです。なお、個別決算における関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以　上